



中野 恵美子
社会福祉士
登録第1146号

最近、街を歩くと「ここは日本なの？」と思うほど、いろいろな国の言葉が飛び交って戸惑うことがあります。外国からの観光客が多いということは平和の証として、歓迎すべきことなのだろうと思います。

近代以前には、人々は生まれた場所からほとんど「移動」することなく生涯を終えました。明治以降、この国からはたくさんの方が兵隊として開拓民や移民として海を越えましたが、これらの「移動」はとて「旅・旅行」といえるようなものではなかったことでしょう。

お金と時間があればある程度、自由に移動ができるようになった現代、私たちも大いに旅を楽しみたいものですが、単なる観光だけでなく、福祉的な見聞を拓ける旅のプランはいかがでしょう。

20年ほど前にマニラを訪れた時のこと。タクシーの運転手に「仕事は何？」と聞かれて、社会福祉士の資格をとったばかりだった私は思わず「I am a social worker」と応えてしまいました。すると彼は真顔になって「本当は外国人には見せたくないのだが、あなたがソーシャルワーカーならこの国の本当の姿を見て欲しい。ただしカメラを向けないこと、車から降りないこと。Are you OK?」・・・車はゆっくりとスラム街の奥まで進んで行き、ガイドブックには決して載

らない人々の生活を実感する旅となりました。

これは予定外の出来事でしたが、例えば「福祉の歩みをたどる旅」を計画することはできません。ロンドンに行く機会があったらケンジントン宮殿だけでなく、ぜひともセツルメント活動発祥の地トインビーホールを訪ねてください。アメリカならばシカゴのハルハウスが博物館として公開されています。

国内なら例えば、岡山市内には「岡山四聖人」の石碑が建てられています。岡山孤児院を設立した石井十次、岡山博愛会でセツルメント活動を行った宣教師アダムス、岡山県出身で東京神田にキングスレー館を建てた片山潜、救世軍の活動で廃娯運動に貢献した山室軍平の功績を称える石碑です。ちなみにこれらの場所や人物は国家試験頻出項目ですが、試験用に丸暗記するよりもグルメや温泉と組み合わせた旅行プランを立てれば、楽しみながら福祉の先達たちの熱い心に触れることができます。

アールブリュットやアウトサイダーアートといわれる、障がいのある人などのアートを訪ねる旅も味があります。るんびにい美術館(岩手県)、NOMA美術館(滋賀県)、みずのき美術館(京都府)、鞆の津ミュージアム(広島県)、葦工ミュージアム(高知県)などが知られています。

これらの情報は養成所ニュースプラス(メールマガジン)の“PLUS COLUMN”で、随時紹介していきますので、皆様、必ず登録してくださいね。

養成所開設30周年にあたる今年、共に楽しく、そして心豊かに学んで成長していきましょう。

養成所ニュース



SCHOOL NEWS



2018.6 No.28

【発行】平成30年6月1日 発行
公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
社会福祉士養成所
〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19
KDX浜松町ビル6F
TEL (03) 3438-0984(直通) FAX (03) 3431-1803

第30期生229名が受講スタート!!

「第30期・新受講生を迎えて」

第30期生の皆様、社会福祉士養成所へのご入学、おめでとうございます。また難関を突破して、第30回社会福祉士国家試験に合格された修了生の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

今年、本養成所は30周年の節目を迎えました。事業体として唯一の社会福祉士養成機関としてスタートして以来、協会の内外に門戸を開き多くの人材を輩出してきたことを誇らしく思うとともに、今年もまた、たくさんの社会福祉士を送り出し、次世代の福祉を担うみなさんを受講生として迎えることができたことを、心から嬉しく思います。

また、本年度は6年に1度の診療・介護・障害福祉サービスの3つの分野の報酬改定が同時に行われた年度で、診療報酬(本体)は0.55%、介護報酬は0.54%、障害福祉サービスは0.47%のプラス改定となりました。特に、介護・障害の分野では、報酬の増減だけでなく、サービスの内容や“質”に応じたメリハリのある改定となっており、障害福祉サービスでは、新たに「自立生活援助」と「就労定着支援」、「日中サービス支援型共同生活援助」等が創設され、障がいのある人たちの自立した地域生活支援への道がさらに一歩進められました。

「福祉は人なり、事業は人なり」といわれます。当養成所は今後とも、刻々と変化する社会のニーズに応え、真に利用者の立場で活動し、人材の育成に尽力していく覚悟を新たにしているところです。

社会福祉の価値・倫理を大切に、より良い社会の実現のために、共に学び共に歩んでいきましょう。



社会福祉士養成所 所長
橋 文也
(日本知的障害者福祉協会 会長)

養成所ニュースプラス+

「養成所ニュースプラス」は、登録されたメールアドレスに随時、養成所からのお知らせや受験に関する情報、過去の国家試験問題と解説等*をお届けするメールマガジン(無料)です。通勤・通学や普段の学習の合間に、受験勉強の“きっかけ”としてご利用ください。登録に関してはホームページをご覧ください。

公益財団法人日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所

随時配信

各種情報配信

受験対策

*9月ごろより「受験対策ミニ講座」を配信予定



無料

社会福祉士養成所ホームページURL
【<http://www.aigo.or.jp/yoseijo/>】



平成30年度スクーリング日程

	29期生スクーリング②	30期生スクーリング①
東京会場	平成30年 7/20(金)~22(日)	平成30年 8/17(金)~19(日)
仙台会場	平成30年 7/27(金)~29(日)	平成30年 7/27(金)~29(日)
名古屋会場	平成30年 8/24(金)~26(日)	平成30年 8/24(金)~26(日)
大阪会場	平成30年 7/14(土)~16(月祝)	平成30年 7/14(土)~16(月祝)
福岡会場	平成30年 8/3(金)~5(日)	平成30年 8/3(金)~5(日)

*養成所に対するご要望・ご意見等ございましたら、ご連絡ください。✉ yoseijo@aigo.or.jp

国家試験にむけてのおすすめ図書

- ・週刊福祉新聞(福祉新聞社)
- ・福祉小六法(中央法規出版、ミネルヴァ書房)
- ・社会福祉用語辞典(中央法規、ミネルヴァ書房)
- ・社会福祉士過去問解説集、ワークブック、国試ナビ(中央法規)
- ・RB社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)

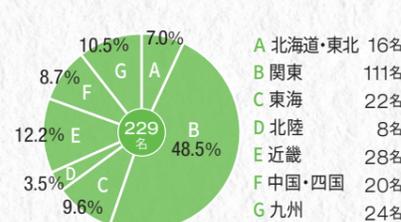
第30期生の概要 (平成30年5月現在)

第30期生社会福祉士養成所の受講生は、229名です。概要については右記の通りとなります。

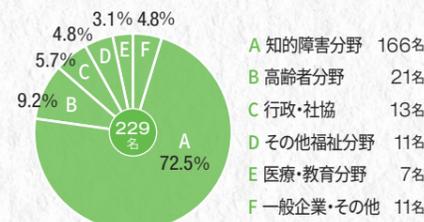
運営状況(過去3年間)

年度(期生)	応募者数	入学者数	修了者数
平成28年度(28期生)	238名	230名	208名
平成29年度(29期生)	251名	238名	
平成30年度(30期生)	235名	229名	

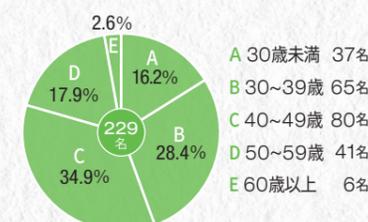
地区別分布



勤務先種別



年齢別分布



第30回国家試験結果報告

第30回社会福祉士国家試験において本養成所より171名(うち29年度修了者84名)が合格しました。前年度(第29回試験)は174名(うち28年度修了者82名)でした。

これまでの国家試験の結果

	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第28回試験	44,764	11,735	26.2
第29回試験	45,849	11,828	25.8
第30回試験	43,937	13,288	30.2
第1回試験からの合計	830,657	229,515	27.6

本養成所修了者の国家試験の結果

	総数		新卒	
	合格者(人)	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
第28回試験(26期卒業生)	153	173	64	37.0
第29回試験(27期卒業生)	174	202	82	40.6
第30回試験(28期卒業生)	171	174	84	48.3

第31回社会福祉士国家試験の概要(予定)

試験日 平成31年2月上旬

受付(提出期間) 30年9月上旬から10月上旬

受験手数料 15,440円(昨年度額)

※詳細は、社会福祉振興・試験センターのホームページ

<http://www.sssc.or.jp/> をご参照ください。



「真のソーシャルワークが求められる時代に」

現代社会と福祉 相談援助の基盤と専門職 相談援助の理論と方法 担当 いわき明星大学教養学部教授 社会福祉士 福田 幸夫



社会福祉士養成所で学ぶ皆さん、はじめまして。

僕も、本養成所の2期生(旧日本精神薄弱者愛護協会時代)として、皆さんと同じようにレポート課題に追われ、スクーリングに出席し、施設実習もこなしました。

そもそも、社会人となった年に社会福祉士及び介護福祉士法が制定され、早速養成施設の通信課程で勉強しようと思いましたが、当時は養成施設も少なく、入学倍率が高かったため、2期生から勉強することになりました。第30回の国家試験になってようやく、試験問題が公開され、その難問さに、自信を失いかけてしまいました。当時のスクーリングは、各科目の講義があり、その後小テストが実施され、本当に息が抜けなかったことを思い出します。また、「老人福祉法等八法改正」という大きな法制度の改訂があったときで、テキストも新版を買いそろえなければならず、出費も痛かったときでした。その分、国家試験に合格したときは本当に嬉しく、資格制度の設立に関わった恩師の故村俊一先生に、真っ先に電話したことを覚えています。先生も、必ずしも優秀でなかった教え子の合格を喜んでくださいました。

そこからもう30年近く、若い学生にソーシャルワークを説く仕事に携わってきました。

国家試験合格後、専門職団体である日本社会福祉士会の設立にも関わり、全国に社会福祉士の仲間が増えました。「名称独占」ゆえ、業務独占が多い医療関連職種に比べて専門性が発揮できないといわれてきた社会福祉士で

が、少しずつ、資格任用の幅が広がってきています。行政の「措置」から、サービス受給の「契約」へとサービス利用のしやすさが大きくなり、サービス利用者の意思の尊重や権利擁護が当たり前になっています。介護支援専門員指導者や介護認定審査会委員、障害区分審査会委員、福祉オンブズマンや社会福祉法人の理事・評議員、行政や社協の各種福祉計画策定委員等、多角的な視点からソーシャルワークを考える機会に恵まれたのは、資格取得のおかげです。

「社会福祉基礎構造改革」以降、福祉分野への市場原理の導入や事業の効率性が言及されるようになりました。現在でも、景気回復といわれながら、生活保護受給者は増加の一途をたどっています。いじめや各種ハラスメントの問題も、後を絶ちません。

一方、福祉サービスの質は、僕が学生だった昭和の時代よりも、確実に向上していると思います。それに伴い、ソーシャルワークに求められる課題も多種多様になり、問題解決への期待も、一段とレベルが上がっています。

これからますます、問題解決に向けた真のソーシャルワークが求められ、同時に社会福祉士の力量が試されていくでしょう。欧米のソーシャルワーカーのように、弁護士、医師に次ぐステイタスの高い資格といわれることを目指し、皆さんは、ぜひ国家資格取得をめざして日々の努力を積み重ねていってください。国家資格者となって、新たなミッションを担った、サービス利用者や他職種から信頼されるソーシャルワーカーになられることを期待いたします。

第30回国家試験に関するアンケート



平成29年11月に修了をした第28期生208名を調査対象とし、146名(①受験をした131名②申込みをしたが当日受験しなかった4名③申込みをしなかった11名)からの回答が得られました。図は受験者の回答をもとに難易度(難しいと答えた人数)を示しています。

※厚生労働省への報告のため、現在もアンケートは回収をしていますので、未提出の方は早急に提出してください。

合格者の体験記

Experience story
既卒者K.Kさん(27期生・30回合格)の合格体験記

受験対策講座・模擬試験など

昨年は模擬試験を1回しか受けなかったのですが、今年は会場受験を1回、自宅受験を2回受験しました。模擬試験を受験することで、その年の傾向が予想できるので、時間を作って1回は受験したほうが良いと思います。

受験対策講座は養成所の直前講座と地元の社会福祉士会の直前講座を受験しました。苦手科目だったので、最終確認に役立ちました。

学習方法について

過去問と模擬試験の問題を2回〜3回繰り返しました。模擬試験の問題に関して、正解したから終わりではなく、間違えたところも含め、全ての問題を1択ずつ確認しました。確認は模擬試験の解説書と福祉小六法を使って平行してチェックを行ない、分からなければテキストで確認して少しでも理解するように努めました。

ノートはメモ代わりに使っていたので、丁寧にはまとめませんでした。ノートは最終的には10冊近くになっていたのですが、勉強した証となり自分に対して自信となりました。WEB講座や赤福アプリなどのアプリ系は模擬試験の確認・復習で手一杯

だったので、手が回らずやりませんでした。

1月に入ってから、模擬試験の復習と平行して、直前講座のテキストと養成所から送られた福祉制度などの主な動きとポイントをチェックしていました。その結果、問題の微妙な言いまわしなどが復習していく内に分かるようになり、理解が深まったと自分でも感じるようになりました。

直前のごと

試験1週間前は、直前講座のテキストと養成所から送られた「直前!頻出項目チェックテスト」と国試ナビのチェックと自分のノートの見直しをただけで、早めに寝るように心がけました。

勉強時間に関しては時間がなくても30分はやろうと決めていたので、正月を含め、毎日やっていました。通勤電車の中で国試ナビを読み、仕事が早く終わったときは図書館で勉強していました。休みの日は図書館で半日、時間が取れる時と直前の時は1日勉強していました。違った意味で緊張感が増し、集中して勉強ができた点がよかったです。